

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県公立紀南病院組合 紀南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	41,959	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
352	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	356
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
324	-	324

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

少子高齢化と人口減少が問題となっている田辺2次医療圏において、不採算部門（救急・小児・周産期・災害・精神等）の医療機能を維持し、変化する医療需要に応じた医療を提供する役割を担っている。また、医師や看護師の人材を確保し地域完結型医療を構築するため、引き続き急性期医療を充実させ、経営基盤を強化していく必要がある。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

R5年度をもって、コロナの分類見直し等により空床確保などの国の対応も終了し、一般診療への切り替えが行われた。医療収益面では、空床確保の影響と圏域人口の減少により、患者数の回復が緩慢で病院経営強化プランに掲げた、損益分岐点（1日平均290人）を大きく下回り、安定した収益の確保は難しくなっている。費用面では、人勤による人件費の上昇や物価の高騰等により給与費率、材料比率があがってきている。患者数の動向から見ても、病床利用率を上げ収益の増加を図ることは困難な状況となっている中で、病床の再編や病床数の適正化、職員の再編や適正配置、医薬品の調達方法や採用品目を見直すなど、費用削減に努め、健全経営に向けた対策を行っていく必要がある。

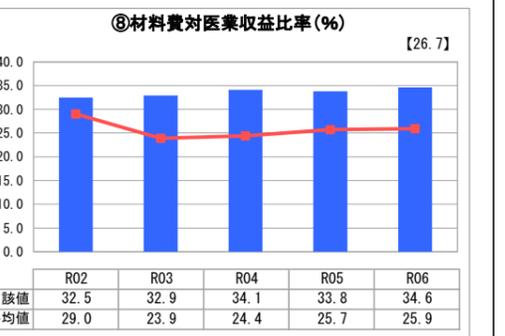
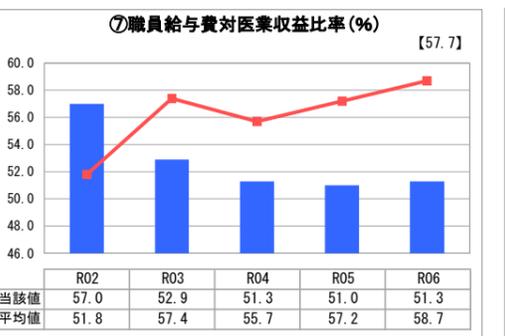
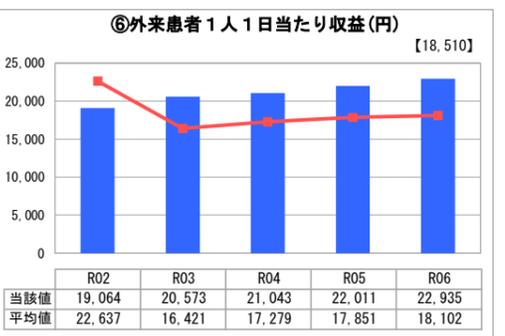
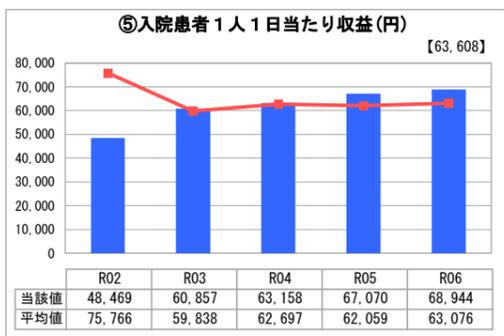
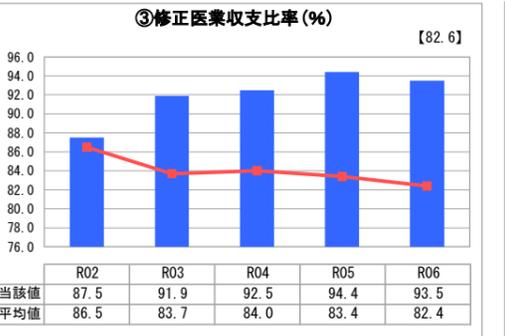
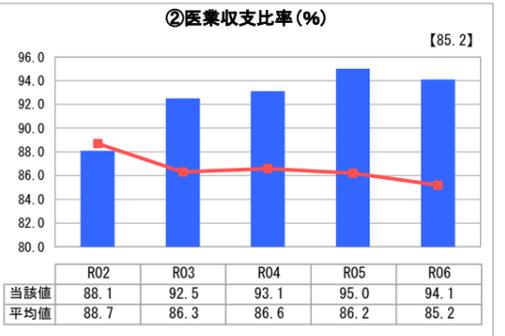
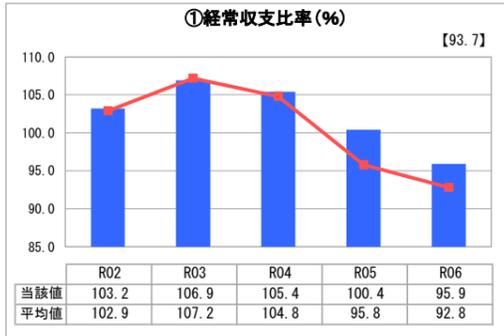
### 2. 老朽化の状況について

設備の更新にあたっては長期計画を作成し、計画的に設備の更新にあたっており、施設の長寿命化に取り組んでいる。器械備品減価償却率が高くなってきており、更新の時期を迎えている。医療需要の変化、技術の進化などによる医療機器等の更新が医師確保や医療機能の拡大に繋がることを踏まえ、適正な購入・更新と資金運用に努めていきたい。

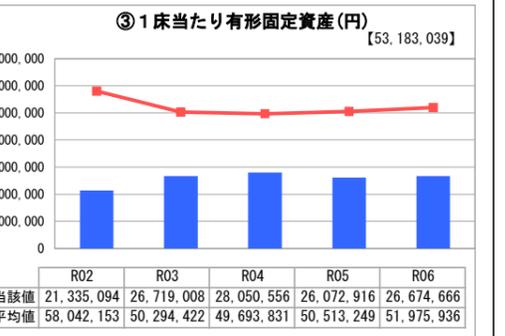
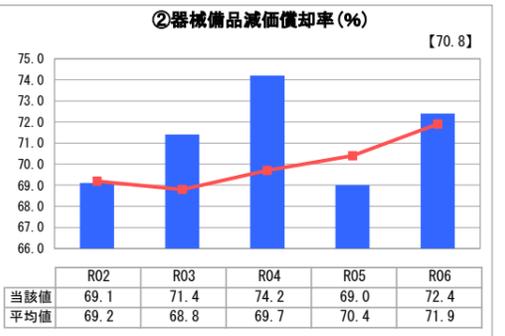
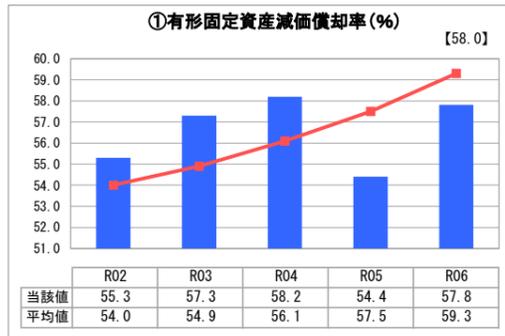
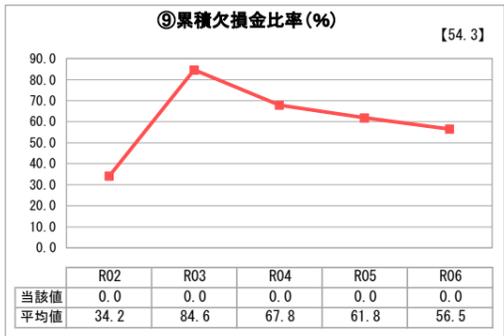
### 全体総括

当地方は、圏域人口が減少しており、これに加え長引くコロナの影響による医療機関への受診控えも重なり、R6年度においてもコロナ前の患者数を確保できていない状況であります。当院は建設から20年を経過しており、省エネルギー化を推進して設備の長寿命化にも努めておりますが、多くの建築付帯設備が耐用年数を迎えてきており、予定していた設備の更新に加え、不測の不具合発生による設備更新も増えております。また、地方の中核病院として、都会に偏在する医師、看護師等の医療従事者の確保対策に苦慮しているところであります。交通の便、インフラ整備など病院のみで対応できない課題もある中で、行政との連携のもと人材確保に努めてまいります。病院事業は、診療報酬による収入が大半を占めております。また、費用面の8割以上は人件費と材料費であります。近年の人件費の増加や物価高騰による材料費の増加は病院経営に大きな負担となっております。安定した経営を維持するためには平常時での修正医療収支比率をいかに改善させるかが重要であり、患者数の動向を分析し、適正規模の病床数での運営が不可欠となってきます。しかしながら、コロナ禍での教訓から、公立病院として不採算部門も抱えていかなければならない使命感もあり、安易な病床数の削減は行い難いことから、現状では、患者数の確保に努めていかなければなりません。病院として、現状規模での患者数の確保や、職員のコスト意識の共有による経費の削減等が喫緊の課題であります。当院としましては、人材確保の観点から、人件費を削減し難い状況ですので、材料費の削減にとりくんでいるところですが、収入確保の上で、診療報酬の大幅なプラス改定等が必要であると考えます。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県公立紀南病院組合 紀南こころの医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	精神科病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	2	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	12,421	非該当	非該当	15:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
198	-	198
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の関係・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

当地域唯一の公立の精神科医療施設として、入院はもとより、外来診療・地域精神保健・福祉相談や救急患者・青年期患者・措置患者に対応している。また、地域の障害者入所施設や通所施設への精神科医療上の支援も行っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

全国的傾向と同様に、当院も入院患者数の減少や病床利用率が低下する傾向となっていたが、近年は横ばい状態で推移している。しかしながら、今後入院患者が増加傾向に転じる可能性については厳しい状況にあり、今後の入院患者数の推移を見ながら、病床再編を含めた費用削減に取り組む必要がある。

一方で外来患者数については増加傾向にあり、県内他地域の精神科病院と比較しても顕著である。また、医師不足により中止していた休日・夜間の救急診療についても、土曜・日曜に限定して再開している。外来収益を増加させることで入院患者減少による入院収益の減少を補い、救急の受け入れにより入院患者の減少に歯止めをかけ、病院全体として更なる経営健全化を目指す。

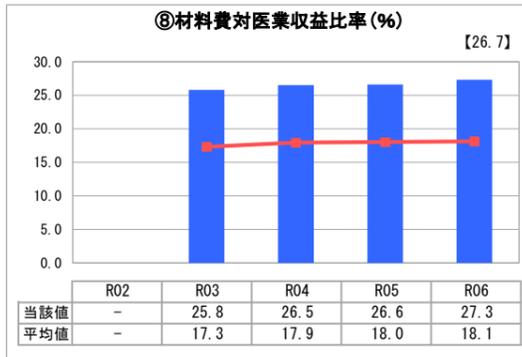
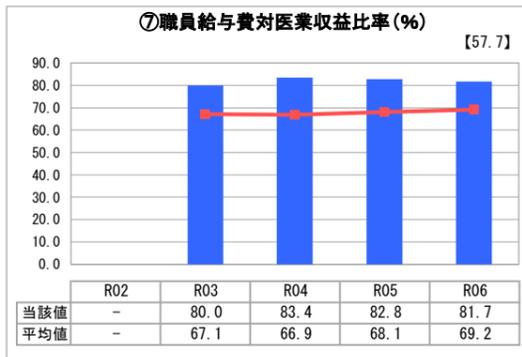
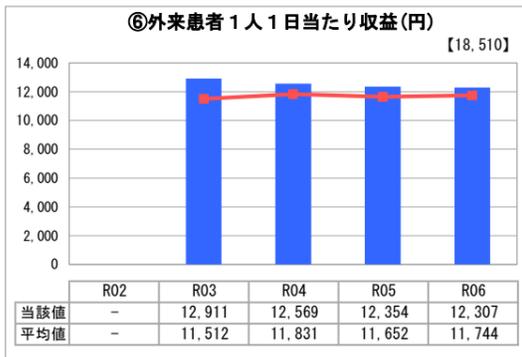
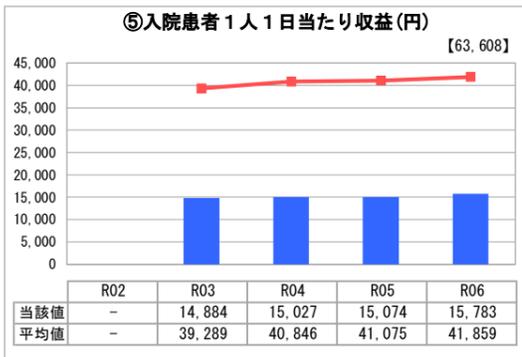
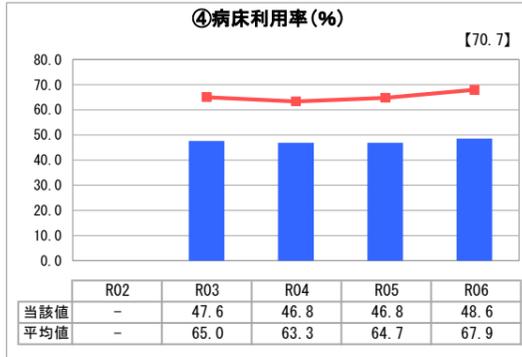
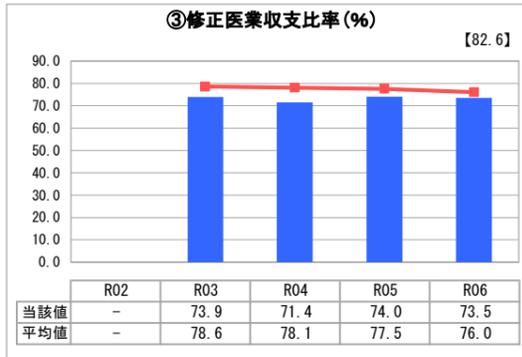
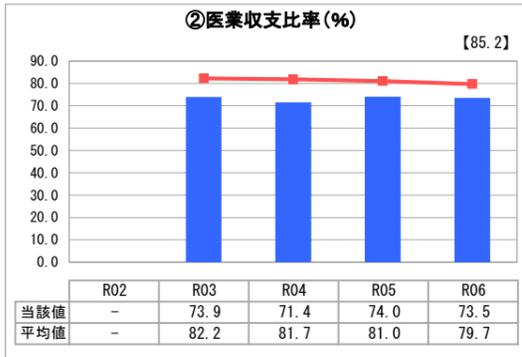
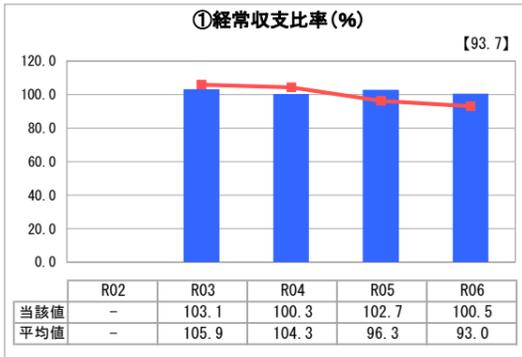
#### 2. 老朽化の状況について

現病院は昭和59年より使用しており建物、設備で老朽化が顕著な状況である。経年劣化による機器の更新は順次実施しているが、建物・設備の修繕費用は今後さらに増加すると思われる。必要な修繕を実施して病院運営の維持に努めているが、早期の建て替えもしくは移転が必要と思われる。

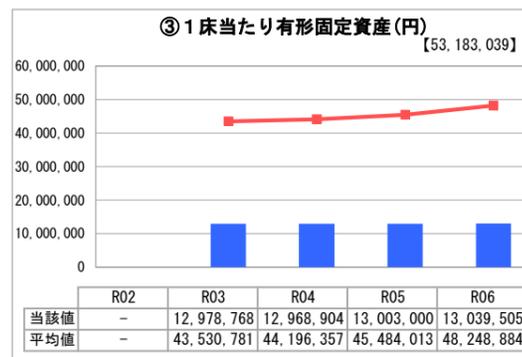
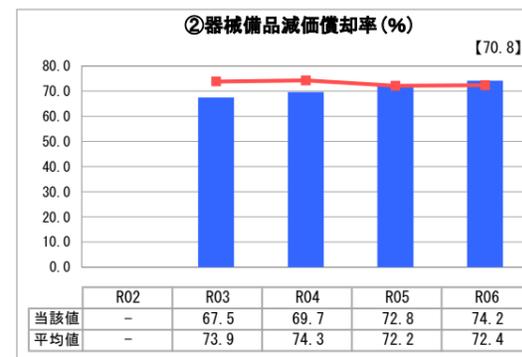
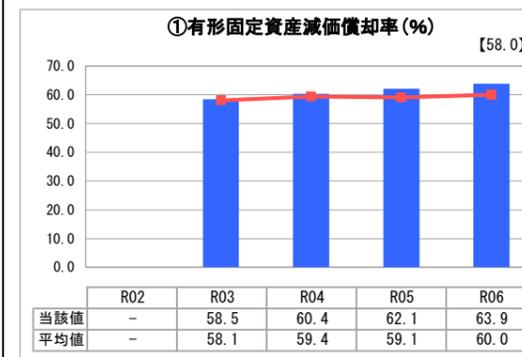
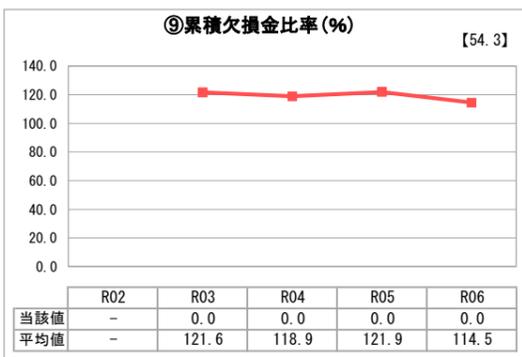
#### 全体総括

平成23年度から14期連続で経常黒字を続けてきたが、令和6年度は人件費の上昇や物価高騰による経費の増加により、黒字額は大幅に縮小している。令和7年度は更なる人件費の上昇により、経常収支は赤字に転落する公算が大きいことから、今後は経費削減や医業収益の増加を計り、経営の安定化が求められる。しかしながら、圏域人口は確実に減少しており、今後の患者数減少が懸念される。医師確保に努め、地域のニーズに応えることで収益の確保を計りたい。さらに入院患者の身体的疾患への対応など、効率の面から紀南病院内の1診療科としての編入なども今後検討が必要と思われる。建物・設備の老朽化も深刻であり、修繕や更新の費用も増大している。経営の効率化に並行して建て替え、移転なども検討課題であり、総合的な対策が求められる。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。